



shaping tomorrow with you

# 富士通Japan株式会社

住所：〒450-6631 愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番3号  
JRゲートタワー35階  
電話番号：052-756-3716 担当者：斉藤・倉地  
主要業務：テクノロジーソリューション、ユビキタスソリューション  
デバイスソリューション  
ホームページ：https://www.fujitsu.com/jp/

## 目指すゴール



富士通グループは、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくというパーパス（存在意義）」の実現に向け、すべての事業活動を行っています。創業85周年を迎えた2020年、富士通グループはこのパーパスを起点に、今後の社会の変化を見据えながらグローバルに事業を展開するテクノロジー企業としてのあるべき姿を描き、事業、人材・組織マネジメント、カルチャーまで、全方位的な変革を加速しています。

私たちは、グローバル企業として世界共通目標であるSDGsの達成に向け環境負荷削減や、食・農やヘルスケア、災害などの分野における新たな価値の創造にテクノロジーを最大限活用し、お客様や社会とともに持続可能で豊かな未来を目指します。今年度は一例として、教育分野に関連した弊社取組みを下記にご紹介します。



※弊社コーポレートプロフィールより



※推進体制図

## SDGsの取組み紹介

### ■ タブレットの取り扱いルールづくりから その先にある社会を考える 【ゴール4.9.12】

富士通グループでは、GIGAスクール構想向けに防滴防塵タブレット「ARROWS Tab Q5010/EEG」を全国多数の小中高等学校へ導入しています。授業でタブレットを利用する機会も増え、スマートフォンを持つ小学生も増え、子どもたちは世界中の様々な情報を瞬時に収集することができるようになりました。タブレットの利用については単なる情報機器の取り扱いだけではなく、そこで扱われる情報の取り扱いについて考える必要があります。では情報とは何か？ 大切にすべきことについて様々な角度から考えるために、大人から児童まで参加の対話方式での授業を実施し、情報社会に生きる一員として、情報の取扱いを自分事として捉えていくことを学びました。

### ■ 学びの場の未来へ向けて【ゴール4.9.12】

未来の学びの場の未来に向け、弊社はつながるためのインフラ、学びのプラットフォームを提供し、継続して新たな価値創出の支援をしております。

- 例) ・体育の指導補助【AI採点システム】：体育の授業でデジタルお手本や分析
- ・共創・協働学習の支援【Innovation Suite】

：アイデア創出やグループ学習の効果的な実践を支援

その他取り組み含め、弊社SDGsへの取り組みについては以下にて是非ご覧ください。

▼弊社HP - SDGsへの取り組み

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>